

エネルギー切れを防ぎ、 集中力をキープ!

紹介者 / インフィニティ株式会社 MUSASHI 事業部 広告・宣伝担当 宮村淳さん



リプレニッシュ
¥2,310(10袋入/税込)
¥5,985(30袋入/税込)
■エネルギー:125kcal(1袋35g当たり)

■おすすめの飲み方:1袋を500mlの水に溶かし、運動中は15分おきに100~250mlを、運動後は15分以内に少量ずつ約500ml、その後3時間は15分おきに100~250mgを飲みます
■成分:ショ糖、マルトデキストリン、ブドウ糖、果糖、クエン酸、L-グルタミン、クエン酸ナトリウム、塩化ナトリウム、クエン酸カリウム、L-ロイシン、L-バリン、L-イソロイシン、ビタミンC、ビタミンE

ネットで評判を見て買い、1年半前から飲んでいます。

週3回、4~5km泳ぐ練習会に参加しています。一番レベルの高いコースで泳いでいるので、ツライ練習に耐えるため、常にリプレニッシュを飲んでます。最後までパタずに、追い込んでいきますね。おかげで先日の大会では、ベストが出ました。

味は、変な甘さがなく、すっきりしていて長時間の練習にいいと思います。また、強度がフルマラソン以上と言われているトレイルランの大会にも、リュックに入れて走り、最後までパタることなく完走することができました。



こいけ せいじ
小池誠治さん(42歳)

水泳歴:15年
得意種目:200mプレスト2分52秒12

モニターコメント

今までになかった高次元ドリンク

REPLENISH

リプレニッシュ

4大特徴

- 1 運動中のエネルギー切れを防止
→ 集中力維持
- 2 水分バランスと代謝を維持
→ 脱水防止、足がつりにくい
- 3 肉体的にも精神的にも
疲れが残りにくい
- 4 着色料、甘味料等の添加物を
使わないから安心



高機能パフォーマンス飲料
REPLENISH (リプレニッシュ)
10袋入り ¥2,310 30袋入り ¥5,985

専用スクイズボトル ¥840
※1袋の粉末を500mlの水に溶かします。

■主成分
ショ糖、マルトデキストリン、ブドウ糖、果糖、塩化ナトリウム、クエン酸(Na、K)、L-グルタミン、L-ロイシン、L-バリン、L-イソロイシン、ビタミンC、ビタミンE

その秘密は、吸収速度の異なる 4種類の糖質

リプレニッシュは、筋肉や脳のエネルギー源となる糖質や、疲労の回復を促すクエン酸・ビタミン・ミネラルなどが主成分。最大の特長は、分解・吸収速度の異なる4種類の糖質(ショ糖、マルトデキストリン、ブドウ糖、果糖)が配合されている点だ。これらは、時間差でエネルギーとして利用されるため、長時間の運動でもエネルギーが途切れず、集中力を維持できるのだ。

さらに、泳ぐ身体を支える複数のアミノ酸がフリーフォーム(単体)の状態で配合されているので、消化・分解の過程を省け、より速く身体に吸収される。

吸収速度の異なる4つの糖質が、高いパフォーマンスをサポート。プールサイドに飲み物を用意して、トレーニング中に水分補給をするスイマーは多い。だが、1~2時間間に及ぶハードな練習に耐え、より高いパフォーマンスを維持して泳ぐには、水分だけでなく効率のいいエネルギー補給も必要だ。そこでおすすめしたいのがMUSASHIの「リプレニッシュ」。

運動すると筋肉中や肝臓に貯蔵されたグリコーゲンが分解されてエネルギーを得るが、グリコーゲンは限られているので、体脂肪をエネルギーに変える必要がある。ところが、運動負荷が高いと脂肪代謝がスムーズにいかなくなるのだ。これを正常に戻し、効率のよいエネルギー代謝をサポートしてくれるのが「リプレニッシュ」。

MUSASHIの宮村淳さんによると「吸収速度の異なる4種類の糖質が配合されているので血糖値が安定し、代謝がスムーズに行われます。すると身体が動きやすくなります。また「リプレニッシュ」の大きな特徴は人工甘味料入りのものではないこと。人工甘味料入りのものは水分の過剰排泄でトイレが近くなったり、足がつりやすくなったりしますが、その心配もありません。また、インシュリンの過剰分泌がないので脂肪代謝が安定して

行われ、疲労が残りにくくなります。もちろん泳いでいる最中に失われるミネラル分や、疲労回復を促すアミノ酸、クエン酸なども含んでいます」とのこと。多量の水分補給をしようと胃がチャチャボすることがあるが、推奨濃度(1袋に対して水500ml)を守れば、適切な浸透圧になり、そうした不快感がないのも嬉しい。練習に集中力を切らさずに取り組むには、根性よりも「リプレニッシュ」をお供にしたい。

60km泳断の際も、胃がタポタポしなかった 体験談

鈴木 一也さん 伊豆大島~茅ヶ崎60km泳断

トレーニング中は汗によって体から水分が出ていくと、血液の流れが悪くなり、練習効率が落ちてしまいます。だから、水分補給については吸収率の良いドリンクを重視しますが、以前は疲労が限界を超えてしまい、どんなに水を飲んでも不思議とどが渇く。お腹はタポタポなのに、枯渇感がなくならなかったんです。

しかし、リプレニッシュと出会ってからはそれがなくなりました。2009年夏に敢行した伊豆大島~茅ヶ崎60km泳断でも、リプレニッシュは重宝しました。自分自身驚きましたが、40分おきに給水していましたが、60km泳いでも尿意をもよおすことはありませんでした。過酷な環境下で、リプレニッシュの吸収率に助けられました。